越教組ニュース

越谷市教職員組合
情　宣　部
１７．０２．２１(火)
Tel 988-3281
Fax 988-3283

小ホール満員　不朽の名作に感動の声続々

第37回主任手当拠出公演「マッチ売りの少女」「三びきのこぶた」

二月四日、コミュニティーセンター小ホールにおいて、主任手当拠出金による文化公演が行われました。

今年の演目は、劇団東少による「マッチ売りの少女」と「三びきのこぶた」でした。

どちらかというと、幼稚園児・低学年向きのお話ですが、さすが昔ながらの名作です。子どもばかりではなく、付き添いの保護者にも好評でした。中には、子ども連れでないお年を召した方が、一人または二人で鑑賞され、劇とともに幼い日々に思いをはせていました。

越谷市の主任手当拠出金による文化公演は、今年で三七回になります。過去にはクラッシックコンサートやミュージカル、影絵、人形劇といったさまざのな文化を取り上げ、提供してきました。

毎年楽しみにしている市民の皆さんも多く、「これからも続けていってください」との感想も多く聞かれます。

最後になりますが、主任手当を拠出していただいた多くの皆さんに、お礼を申し上げます。

「三びきのこぶた」劇中の一場面

かんそう　いろいろ　いろいろ　かんそう

◎子どもたちの笑いを押さえた内容でした。長時間でしたが、姉弟とも集中して見られていました。「マッチ売りの少女」、「三匹の子ぶた」とも歌詞が感動的で、ウルウルしてしまいました。子どもたちといられる今を大切に過ごしたいと、改めて思いました。ありがとうございました。（九歳、三歳の母親）

◎マッチ売りの少女は、私の見たことのないかなしさと感動でした。三びきの子ぶたは、オオカミが本当はやさしいなんて思ってもいませんでした。とてもおもしろいげきを見せていただき、ありがとうございました。（四年女子）

◎子ぶたの歌がおもしろかったです。おどるところもすごくおもしろかったです。オオカミががんばっていたのが、すごいと思いました。楽しそうに子ぶたのチィブーがレンガをたてていました。（一年　男子）

◎三びきの子ぶたでオオカミがレンガのおうちをこわそうとしました。いっぱいしっぱいして、さいごに子ぶたさんたちと友だちみたいにすごくなかよしになれてよかったです。（一年　女子）

◎ずっと見ていたくなりました。また見たいです。マッチうりのしょうじょも三びきの子ぶたもすごかったです。またやるのをまっています。つぎはなにをやるのかたのしみです。いっぱいれんしゅうしてくれてありがとう。（一年　女子）

◎「マッチ売りの少女」は最後に少女が天に行ったけど、うれしそうでよかったです。「三びきの子ぶた」はとても頭のいい弟に感心しました。ありがとうございました。（五年　男子）

新指導要領、ここにも詰め込みの影響が…

小学校給食時間の少なさを嘆く投書

小学校低学年の給食の時間が少ないのではないか…。そんな不安が寄せられました。

二月初旬の大手新聞の読者投稿欄に寄せられた東京都の四十代の主婦の声です。

小学校の給食時間が短かすぎます。

２人の子どもが通う小学校では、低学年は配膳に時間をとられたりして、食べる時間が短くなってしまうようです。二年生の次男は

「今日は十三分しか食べる時間がなかった」

「まだおなかいっぱいではなかったけど、時間がきたから残しちゃった。」と言います。

…（中略）…。

４月に入学する三男の入学説明会では

「準備から片付けまですべて含めて四十分。食事を二十分で終えられるように練習するように」

と言われました。

そして、様々な科目ぎっしりの学校生活に疑問を呈しています。この投稿者は東京都ということですが、越谷市内でもその傾向があります。小学校ばかりでなく中学校でも給食時間の少なさは指摘されています。

新指導要領では、授業時間が小学校でさらに週一時間増えるといいます。給食時間を長くするという選択は現実的ではありません。着替え・消毒・集団での移動・挨拶…。給食の配膳以外にもやることは多いのです。この時間を如何に生み出すのか…私たち教職員も不安が消えません。

少人数署名一万人超

毎年越教組が取り組んでいる「三〇人学級実現」の署名が今年も一万人を超えました。

少人数学級は、職場アンケートでも保護者との話の中でも常に要求のトップランクの要望です。

国や県の腰が重いなら、越谷独自で…と毎年署名を集めて教育長や市長に声を届けています。

今年も多忙の中、賛同する人たちとともに署名を訴えてきました。教育長への提出は今月二十四日です。